

簡易仕様書

1. 作者

紅林紗衣

2. アプリ名

Searchapp

3. コンセプト

大学生のための、徒歩圏内で瞬時にお店を発見

4. こだわったポイント

動的な URL の作成に力を入れた。

丁寧なソースコード作りを心がけた。

デザイン面は時間がなく、こだわることができなかった。

5. 公開したアプリの URL

Github

<https://github.com/Kurebayashi38/searchapp.git>

6. 開発環境

Windows 10Home

21H2

7. 開発言語

HTML&CSS, Javascript

8. 動作対象端末

パソコン

9. 動作対象 OS

Windows 10Home

10. 開発期間

14 日間

11. アプリケーション機能

11.1 機能一覧

- ・ 現在地を取得し、半径(半角数字)を指定して検索する

12.使用している API,SDK,ライブラリなど

- ・ ホットペッパーグルメサーチ API
- ・ Geolocation API
- ・ heroku(PaaS、連携して終わった)
- ・ j Query
- ・ Ajax

13.アドバイスして欲しいポイント

- ・ API をローカルで使用するときにサーバの Origin 許可でつまづいてしまったので解決法を知りたい。(おそらく Web サーバを立ててヘッダーにリクエストを送れば解決できるが、サーバについて勉強をするにも時間が足りず、フレームワークのことも考え heroku という PaaS を利用してみたがおそらく使用言語の原因で公開までできなかった)
- ・ Js について一からの勉強だったので、ソースコードの書き方やオブジェクトの使い方が全体的に正しいのかについて聞きたい。

14.自己評価

今回の課題についてはとても悔しい結果となった。途中でサーバのエラーに陥ってしまい、実装したいことが実装できずに完成度 2 割程度で終わってしまったからだ。全体の流れについて、最初の要件やユーザーストーリーを決めることはしっかりできた。その後 Javascript を中心にやっ払いこうと決めたが、ほぼ 0 知識からの挑戦だという自己認識が低く、思った以上に勉強や調べ物に時間がかかってしまったのが失敗の要因の一つだ。しかし調べ物を沢山して試行錯誤していくうちにプログラミングが楽しくて朝から晩まで集中して課題に真摯に向き合うことができた点は評価したいと思う。同時に自分の Javascript に対する知識が深めることができた。

今後の改善点として Javascript だけではなく PHP などのサーバサイドの処理を、どうフロント部分と処理を組み合わせしていくかの理解を深めること、また自分の能力を過信せず現状を把握し足りていないところを可視化するようなスケジュールを立てることを心がけたいと考える。

15.今後実装すべき機能、または実装しなかった内容

- ・ 検索内容を半径に加えキーワード検索にする

徒歩圏内の飲食店検索を想定しているため、半径を指定し(指定しない場合は 2km を目処に、または処理が適切に動く程度の検索結果数で表示)フォームの設定で日本語入力も対応

できるので対応した後、検索結果を送信し格納で API に受け渡しするプログラムを書いたかった。またフォームの設定によってはクロスサイトスクリプト攻撃の対象となってしまうのでその対策について(エスケープ処理など)工夫をしてみたかった。

・検索結果画面について、Google マップ API を使ってアクセスの部分を目的地までの所要時間表示にする

追加で詳細画面に移る時 Google マップ API の Directions API を使って最適経路の結果をマップとして表示させることでユーザに正確な店舗の場所情報を視覚的にわかりやすく提供できると考えた。これに関しては特に徒歩圏内の情報では、わざわざ他アプリで道のりを調べるのは煩わしいので自サイト内で完結するのは大きなメリットである。

・検索結果画面について、お店のジャンル(genre.name と genre.catch)、予算(budget.average, もしかしたら夜の予算のみの表示になる)を表示させる

大学生が周辺の食べ物情報を探するとき、もっとも重要視する二点を表示させようと思った。項目が多過ぎてもユーザインターフェース的に見づらいサイトになってしまう。大学生に限らず大抵の人はお店を一覧から見るとき、どんな料理を扱っているかをまず知りたいと考える。そして大学生は食費にけるお金が限られているので予算を表示させ、クリックで詳細画面に移る前に予算が高い店を避けられるようにする。

・詳細画面について、API で取れる情報のほとんどが見られるようにしたいと思うが、表示の仕方について以下の表示をする

画像

基本情報

店舗名称

住所とここから何分かかかるかの表示(クリックしたら Google マップに飛ぶ)

営業時間と定休日

店舗詳細情報(クリックしたら子ノードが表示)

Wifi 有無

禁煙席かどうか

個室 or 掘り炬燵 or 座敷

備考

クーポン URL

このようにまとめることで大学生にとって必要な情報を瞬時に把握でき、検索に時間をかけることなくお店を見つけることができる。

16.テーブル定義(ER 図)などの設計ドキュメント

